扇小レポート９０９　人混みに注意

保健室の廊下に貼ってあります。小学保健ニュースです。
インフルエンザがはやってきたので、ぜひ読んでおきましょう。
出かける時には・・・、分かりますよね。



少年写真新聞
Juniors' Visual Journal
https://www.schoolpress.co.jp/

小学保健ニュース

No.1440
11月28日号

インフルエンザ流行中は人混みに注意

人混みには感染者がいることが多く、ウイルスをふくんだ飛まつが飛び交っています

インフルエンザ流行中に、人が多く集まる場所に行くことが、感染の原因になることがあります。

インフルエンザ流行中には、人が集まる場所に行くのをさけるようにするか、出かける予定をなるべく調整するようにしましょう。

インフルエンザは、感染した人が飛ばす飛まつ（目に見えないつばのしぶき）や、手についたウイルスが鼻や口から入ることで感染します。

特に、人混みでは、ほかの人とのきょりが近いため、感染者がいると、気づかないうちに多くの人に感染が広がってしまうことがあります。

そのため、インフルエンザが流行しているときに人混みに行く必要がある場合は、不織布マスクをつけて、帰ったら必ず手を洗いましょう。

出かける必要があるときには

不織布マスクをつけることで、ほかの人の飛まつが鼻や口から入るのを防ぎ、自分が感染していても、飛まつが飛び散りません。

外から帰ってきたら、必ず石けんを使って手を洗います。

お祭りやイベントの後、インフルエンザになる人が多い気がします。